



# 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

パンデミック下の狭間・孤立・困窮問題と制度(支援)が向き合う課題

全体会 1 2021年11月13日【土】13:10~15:30

オンライン開催

大会ニュース2号

発行:2021年11月19日

## 【午後の部】開会

開催地あいさつ

### 「幅広い意見・情報交換を」

東海市長 花田 勝重



生活困窮者が抱える状況が多様化、複雑化するなか、一人ひとりに寄り添い、相談・参加支援・地域助け合いへの一体的取り組みが求められる。本大会で幅広い意見・情報を交換し、生活困窮者の自立と尊厳確保に一層のご協力をお願いしたい。

国会議員からのエール

### 「コロナ前よりいい社会を」

公明党 参議院議員 山本 香苗さん



コロナ禍で、住宅セーフティネットをはじめ生活支援資金の貸付と給付のバランス、孤立対策などさまざまな課題が浮かび上がった。議論を重ね、皆さんの声に耳を傾けながら、コロナ前よりいい社会をつくるために全力で取り組んでいく。

### 「新たな課題に新たな改善を」

自由民主党 衆議院議員 鬼木 誠さん



コロナの時代となり、さまざまな、新たな課題が出てきている。「孤独」「困窮」の質が変わりつつある。本大会は、そうした新たな課題に対して、新たな改善を求めていく、そうした新たな時代の研究・交流大会となることを願っている。

### 「ポストコロナの時代を見据えて」

立憲民主党 参議院議員 石橋 通宏さん



全国の皆さんが、困窮や孤立に苦しむ方に寄り添い、支援の手を差し伸べていることに感謝と敬意を申し上げます。皆さんの経験や問題意識を共有いただき、ポストコロナの時代を見据えて、制度的な改善・改革を、皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

## 後半シンポジウム

### 「パンデミックを超えて誰もが包摂される社会へ」

#### 登壇者

中核地域生活支援センターがじゅまる センター長 朝比奈 ミカ  
 豊中市市民協働部くらし支援課 課長 濱政 宏司  
 一般社団法人社会的包摂サポートセンター 事務局長 遠藤 智子  
 一般社団法人反貧困ネットワーク 事務局長 瀬戸 大作  
 生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事 奥田 知志 (NPO法人抱樸理事長)  
 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室 室長 唐木 啓介

#### 司会進行

生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事 宮本 太郎 (中央大学法学部教授)



前半シンポジウムの議論も踏まえ、コロナ禍であぶりだされた居住政策の重要性や多様な就労支援、相談支援のあり方について議論を深めた。

コロナで顕在化した生活困難層に対して、個々の価値観や望みを把握したうえで自立支援を行う必要がある。支援者側には、役割分担を超えて重なり合いをつくる仕組みと、広域での縦横のつながりづくりが求められる。SNS・ICTの活用やアウトリーチによる相談支援の拡充、就労の有無に線を引きたくない寄り添い支援、就労支援が中長期にわたる場合の所得補償や協同労働の可能性、就労の条件整備ではない居住支援体制の確立も検討課題。

「関係性の貧困」を生まないコミュニティづくりが不可欠であり、生活困窮者自立支援制度の見直しにあたっては制度の原点である「人が人を支える支援」に立ち返り、関係機関との連携に努め、人と人とのつながりを育む地域づくりを目指すことを確認した。